

2020年12月11日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

コロナ重症者専門医療施設 「大阪コロナ重症センター」の管理業務を受託

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀 克英）は、大阪府大阪市住吉区の「大阪急性期・総合医療センター」内に新設される「大阪コロナ重症センター」の管理業務を受託し、2020年11月30日より管理開始いたしましたのでお知らせいたします。

大阪コロナ重症センターについて



「集中治療ユニット棟」内部

大阪コロナ重症センターは、新型コロナウイルスに感染した重症患者の治療を行う医療施設として大阪府が建設を進め、11月29日に第1期施設が完成、12月15日より運用を予定している施設です。

「集中治療ユニット棟」「CT棟」等計7棟からなり、施設内には重症患者専用の病床が30床設けられ、そのすべてに人工呼吸器を備えています。

当社の受託業務について

本施設は大阪府からの発注により大和リース（株）が建築主となり、当社は大和リース（株）より施設内設備の法定点検等の管理業務を受託いたしました。

一般的な施設にも見られる受変電設備・受水槽等の管理をはじめ、病棟施設内で24時間稼働している空調関連設備の維持管理も行います。業務履行にあたっては、大阪府・医療関係者とも協議し、医療関係のガイドラインに準拠する労働環境を構築して、防護服の着用等、従業員の感染対策を徹底いたします。

東急コミュニティーについて

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行っている総合不動産管理会社です。マンションで34万戸、ビルで1,100件の管理実績があります。また、行政施設（指定管理者・PFI等）において、ホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設、大学の研究施設など様々な用途の維持管理・運営実績もございます。

コロナ関連施設の管理受託は当社初の試みとなりますが、多様な施設の管理実績・知見を持つ当社だからこそ、患者様・医療スタッフ様等の施設利用者と当社・協力会社の従業員それぞれの安心・安全を図りながら業務を執り行えること、またコロナ禍での医療体制の円滑化に寄与するという社会的

使命から、本件の受託に至りました。

これからも当社は、社会に必要とされる「コミュニティー」を創る会社として、従業員の安全に配慮しながら地域社会に貢献する効率的かつ高品質なサービス提供を追求してまいります。

■大阪コロナ重症センター(第1期)

所在地：大阪府住吉区万代東3-1-56（大阪急性期・総合医療センター内）

用途：医療施設（新型コロナウイルス重症患者の治療専用）

病床数：30床

設置者：大阪府知事

建築主：大和リース株式会社

事業期間：2020年11月30日～2022年11月29日

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：高村・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。